

キャッシュレス関連用語集

基本編

商務情報政策局 商務・サービスグループ

キャッシュレス推進室

2019年6月



用語一覧

あ行.....	5
アクセプタンス・マーク (acceptance mark) / 利用可能表示 ☆☆.....	5
アクワイアラー (acquirer) ☆☆.....	5
☆☆後払い ☆.....	5
アプリ/アプリケーション (application) ☆.....	6
イシューアー (issuer) ☆☆.....	6
一次元コード ☆☆.....	6
インターチェンジ・フィー (interchange fee) ☆☆.....	7
インターネット・バンキング (internet banking) ☆☆.....	8
インバウンド (inbound) ☆☆.....	8
オーソリゼーション (authorization) ☆☆.....	8
おサイフケータイ ☆☆.....	8
オンライン決済 ☆☆.....	9
か行.....	9
カード決済 ☆☆.....	9
加盟店 ☆☆.....	9
加盟店審査 ☆☆.....	9
加盟店手数料 ☆☆.....	9
キャッシュカード (cash card) ☆☆.....	9
☆☆キャッシュレス決済/キャッシュレス (cashless) ☆.....	10
キャッシュレス決済比率 ☆☆.....	10
キャッシュレス社会 ☆☆.....	10
キャッシュレス決済手段/キャッシュレス・ツール ☆☆.....	10
キャッシュレス推進協議会 ☆☆.....	10
キャッシュレス・ビジョン ☆☆.....	10
キャリア決済 ☆☆.....	11
☆☆クレジットカード (credit card) ☆.....	11
☆☆決済 ☆.....	11
決済端末 ☆☆.....	12
決済代行サービス ☆☆.....	12
決済代行業者 ☆☆.....	12
決済データ ☆☆.....	13
☆☆現金決済 ☆.....	13
口座振替/口振 ☆☆.....	13
☆☆コード決済/バーコード決済/QRコード決済 ☆.....	13

国際ブランド	☆☆	14
☆☆個人間送金	☆	14
さ行		14
サインレス (signless)	☆☆	14
☆☆スマートフォン決済 (スマホ決済)	☆	15
生体認証	☆☆	15
静的 QR コード	☆☆	15
接触型 IC カード	☆☆	15
セルフ・コントロール	☆☆	15
☆☆即時払い	☆	15
た行		16
☆☆タッチ式	☆	16
☆☆チャージ/入金 (charge)	☆	16
デジタル通貨/デジタルコイン	☆☆	16
☆☆デビットカード (debit card)	☆	16
デポジット (deposit)	☆☆	17
☆☆電子マネー	☆	17
電子レシート	☆☆	18
動的 QR コード	☆☆	18
な行		18
二次元コード	☆☆	18
入会審査	☆☆	19
は行		19
☆☆バーコード	☆	19
非接触型 IC カード	☆☆	19
フィッシング詐欺	☆☆	19
ブランド・デビット	☆☆	19
<small>ふりかえ</small> 振替	☆☆	19
<small>ふりこみ</small> 振込	☆☆	20
プリペイド (prepaid)	☆☆	20
☆☆プリペイドカード (prepaid card)	☆	20
ペイ (pay)	☆☆	20
ポイントサービス (point service)	☆☆	20
ポストペイ (post-pay)	☆☆	21
本人確認	☆☆	21
ま行		21

☆前払い ☆	21
ら行	21
リボ払い／リボルビング払い ☆☆	21
A～Z	21
API (Application Programming Interface) 「エーピーアイ」 ☆☆	21
☆ATM (Automatic Teller Machine) 「エーティーエム」 ☆	22
BtoB (Business to Business) 「ビートゥービー」 ☆☆	22
BtoC／CtoB (Business to Consumer) 「ビートゥーシー」 ☆☆	22
BtoG／GtoB (Business to Government) 「ビートゥージー」 ☆☆	22
CtoC (Consumer to Consumer) 「シートゥーシー」 ☆☆	22
CtoG／GtoC (Consumer to Government) 「ジートゥーシー」 ☆☆	22
CPM (Consumer presented Model) 「シーピーエム」 ☆☆	23
EC サイト (EC:Electronic Commerce) 「イーシーサイト」 ☆☆	23
ETC カード (ETC:Electronic Toll Collection system) 「イーティーシーカード」 ☆☆	24
Felica 「フェリカ」 ☆☆	24
Fintech 「フィンテック」 ☆☆	24
☆IC カード (IC:Integrated Circuit) 「アイシーカード」 ☆	24
J-Debit 「ジェイデビット」 ☆☆	25
MPM (Marchant Presented Mode) 「エムピーエム」 ☆☆	25
P2P 送金 (Peer to Peer) 「ピートゥーピー、ピアトゥーピア」 ☆☆	26
Pay-easy 「ペイジー」 ☆☆	26
PFM (Personal Financial Management) 「ピーエフエム」 ☆☆	26
POS システム 「ポストシステム」 ☆☆	26
☆QR コード 「キューアールコード」 ☆	26

あ行

アクセプタンス・マーク（acceptance mark）／利用可能表示 ☆☆

お店で使えるキャッシュレス手段を表す、店頭にあるロゴマークのこと。

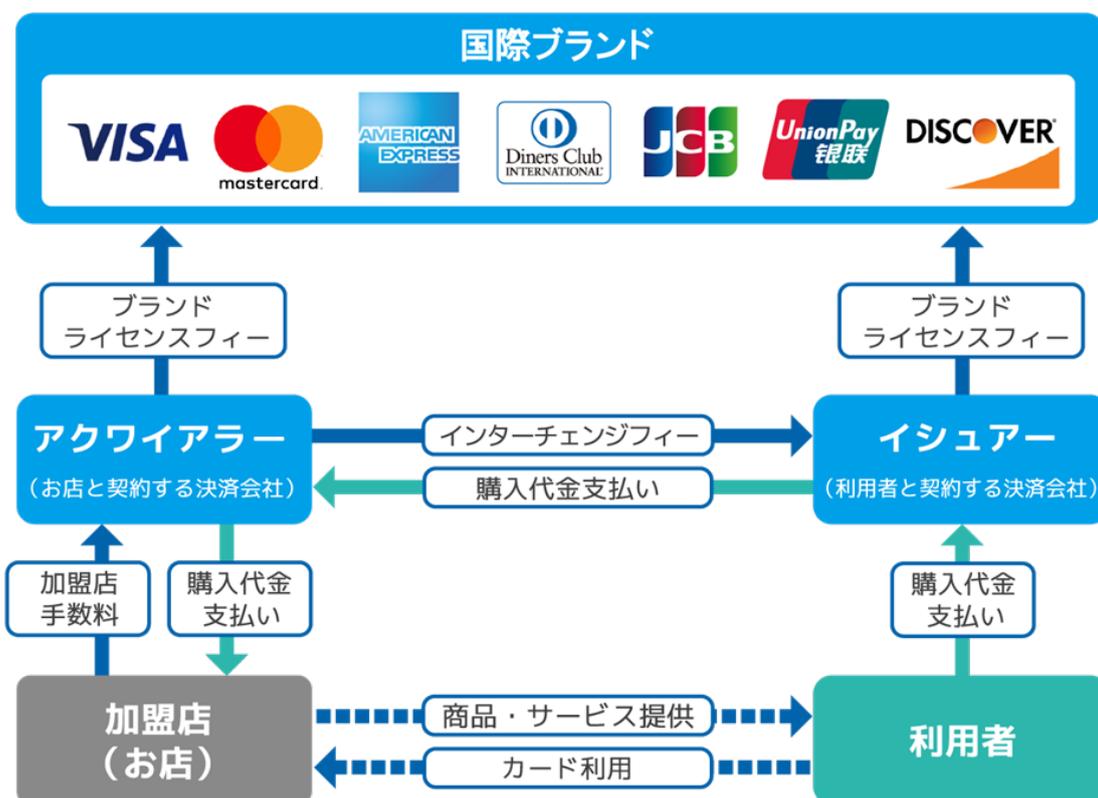
アクワイアラー（acquirer） ☆☆

お店に対して、キャッシュレス手段の導入に向けた契約を行ったり管理したりする会社のこと。

【加えて】

その他、イシューア（利用者と契約する決済会社）への購入代金請求、加盟店（お店）への代金支払いが主な業務である。

＜クレジットカードでの支払いにおけるお金の流れ＞



後払い ☆

商品やサービスを先に受け取り、後で代金を支払うこと。

【加えて】

クレジットカードでの支払いや、商品・サービスを受け取った後での請求書のコンビニ支払い、銀行振込などがこれにあたる。ポストペイともいう。他には前払いと即時払いがある。

<支払い方法の種類>

	前払い (プリペイド)	即時払い (リアルタイムペイ)	後払い (ポストペイ)
サービス例	電子マネー (交通系、流通系) プリペイドカード ギフトカード	デビットカード (J-Debit、 ブランドデビット)	クレジットカード
	バーコード または QRコード		
支払方法	1回払い	1回払い	1回払い 分割払い ボーナス払い
限度額	入金額 ※入金上限額が設定されて いる場合もある	預金口座残高 ※1日の利用上限額が設定 されている場合もある	与信枠 ※収入、支払い実績など をもとに設定される
入会審査	原則なし	原則なし	あり

アプリ／アプリケーション (application)

☆

スマートフォンやタブレット端末にインストールして使える様々なソフトウェアのこと。

【加えて】

正式にはアプリケーションと呼ばれる。ゲームや SNS、音楽プレイヤー、決済アプリ、銀行アプリなど様々な種類のものがある。

イシューアー (issuer)

☆☆

利用者と契約し、キャッシュレス手段を発行・提供する会社のこと。

【加えて】

利用者の獲得や利用者への請求が主な業務である。※アクワイアラーのイラスト参照

一次元コード

☆☆

しま模様の線の太さによって数値や文字を表す符号のこと。バーコードともいう。

【加えて】

例えば、スーパーやコンビニの商品のパッケージにはバーコードがついており、レジにある機械で商品情報を読み取ることができる。読み取った情報は会計や在庫管理などに活用されている。

<コードの種類>

	バーコード(1次元)	QRコード(2次元)
表示例	<p>情報を持たない タテ方向</p> <p>情報を持つ ヨコ方向</p>	<p>情報を持つ タテ方向</p> <p>情報を持つ ヨコ方向</p>
データ容量	原則、理論的上限はないが、 一般に最大数十桁と言われる (リーダー側要件も影響) JAN : 13桁 ITF : 14桁 (ITF-14) NW-7 : 原則制限なし CODE128 : 原則制限なし	数字のみ : 最大7,089文字 英数字 : 最大4,296文字 (US-ASCII) 漢字・かな : 最大1,817文字 (Shift JIS) ※バージョン最大 : 40(177セル×177セル)の場合
主要用途	固有識別キー (ID、商品コード等)	URL搭載によるインターネット画面遷移 (デジタルクーポン、EC再度誘導等)
コード生成難易度	難易度低	難易度低
コード印刷領域	比較的大 (長方形状)	比較的小 (正方形状)
コード生成コスト	安価 (テスト生成は無償で生成可能)	安価 (テスト生成は無償で可能)
コード読み取り機器コスト	数千円～	数千円～数万円
コード読み取り速度	即時	即時

インターチェンジ・フィー (interchange fee)

☆☆

クレジットカードでの決済があった際に、アクワイアラー（お店と契約する決済会社）がイシューアー（利用者と契約する決済会社）に支払う手数料のこと。

【加えて】

アクワイアラーがお店（加盟店）から徴収した加盟店手数料で支払われるため、最終的に加盟店が負担していることになる。

ビザやマスターカード、JCB等の国際ブランドが定め、加盟店の業種によって手数料率が異なる。ビザにおいてはIRFと呼ぶ。

※アクワイアラーのイラスト参照

インターネット・バンキング (internet banking)

☆☆

インターネット上で口座残高照会、振込等の銀行取引ができるサービスのこと。

【加えて】

銀行の窓口や ATM に行く必要がなく、パソコンやスマートフォンで取引ができるという利便性を持つ。

三菱 UFJ 銀行では三菱 UFJ ダイレクト、三井住友銀行では SMBC ダイレクト、みずほ銀行ではみずほダイレクトという名前でインターネット・バンキングのサービスを提供している。

インバウンド (inbound)

☆☆

外国人が訪れる旅行のこと。

【加えて】

観光の観点からは、訪日外国人旅行者を指して用いられる。国際的に利用者の多い、クレジットカード・デビットカードの国際ブランド対応はインバウンド対応の 1 つとなる。2014 年頃に中国人旅行者による「爆買い」現象が注目されて以来、インバウンドという言葉が急速に普及した。中国人の需要を取り込むために Alipay（アリペイ）、WeChatPay（ウィーチャットペイ）、銀聯（ぎんれん）などの中国系のキャッシュレス手段を整備するお店が増えた。反対に、日本人が外国へ出かける旅行をアウトバウンドという。

オーソリゼーション (authorization)

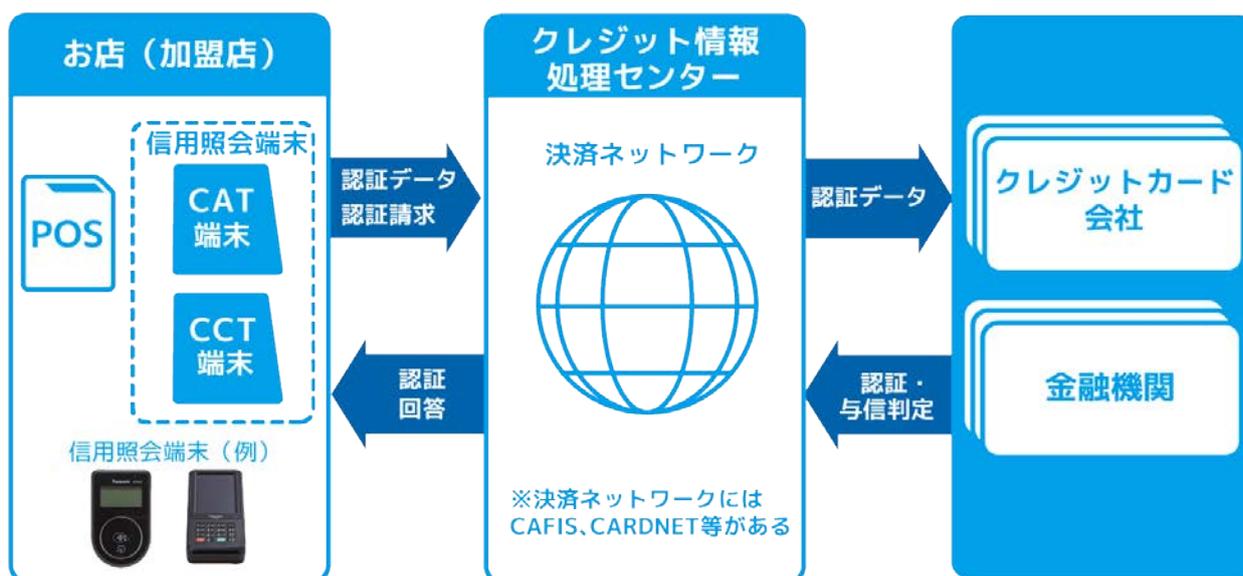
☆☆

消費者がクレジットカードで支払う際に、お店が利用可否を確認すること。

【加えて】

お店が専用の端末に通して消費者が使用するクレジットカードの利用可否についてクレジットカード会社に確認する。オーソリゼーション (authorization) には「権限を与えること」「許可」の意味がある。

<オーソリゼーションの流れ>



おサイフケータイ

☆☆

携帯電話やスマートフォンを、読み取り機にタッチして支払いが出来るサービスのこと。

【加えて】

Felica（フェリカ）を利用した日本独自のサービス。支払いのほか、残高の確認をしたりポイントを貯めたりすることができる。システム開発を行った NTT ドコモの登録商標だが、KDDI やソフトバンク等の携帯電話でもおサイフケータイのサービスが使える。

オンライン決済

☆☆

電子決済を利用したときに、その場で決済会社との通信が行われること。

【加えて】

クレジットカードでは提示した時点で利用限度額に達している場合は利用できず、デビットカードでは登録してある口座残高が不足している場合は利用できない仕組みになっている。

か行

カード決済

☆☆

クレジットカードやデビットカードなどのカードを使って支払いをすること。

【加えて】

支払う際のカード読み取り方法は、カード読み取り機にスライドさせる方式（磁気カード）、カードを差し込む方式（接触型 IC カード）、カードをタッチしたりかざしたりするタッチ式（非接触型 IC カード）がある。

加盟店

☆☆

キャッシュレス手段で支払えるお店や企業のこと。

【加えて】

決済会社と契約して、そのサービスに対応していることを加盟店と呼んでいる。どのキャッシュレス手段が使えるのかが消費者に分かるように、店頭にはステッカー等（アクセプトタンスマーク）を貼って示している。

加盟店審査

☆☆

お店でキャッシュレス手段を導入する際に、決済サービス会社の審査を受けること。

【加えて】

お店の業種・提供サービス内容・店舗の立地・取扱商品などの情報を決済サービス会社に提供し、審査を通過したお店は、加盟店として契約を結ぶことになる。

加盟店手数料

☆☆

消費者がキャッシュレス手段で支払いをした際に、お店（加盟店）が決済サービス会社に支払う手数料のこと。

【加えて】

クレジットカード決済では、加盟店がアクワイアラー（お店と契約する決済会社）に支払う手数料のことを指す。ビザ・マスターカードでは MDR (Merchant Discount Rate)、JCB では加盟店割引料という。

※アクワイアラーのイラスト参照

キャッシュカード（cash card）

☆☆

銀行などで口座開設をしたときに発行される ATM 等で使用できるカードのこと。

【加えて】

ATMに入れて、暗証番号を入力することで、口座へのお金の入出金（預入・引き出し）、残高の確認（残高照会）、別口座への送金（振替/振込）などができる。

キャッシュレス決済／キャッシュレス（cashless）

☆☆

お札や小銭などの現金を使用せずにお金を払うこと。

【加えて】

クレジットカード、電子マネー、デビットカード、スマートフォンやインターネットを使った支払いなどがこれにあたる。なお、キャッシュ(cash)とは、「現金」を意味する。接尾辞のレス(less)は「ない」を意味する。現金ではなく、主に、デジタル化されたデータでお金のやり取りを行う。

キャッシュレス決済比率

☆☆

全ての支払い金額のうち、キャッシュレス決済で支払われた金額の割合のこと。

【加えて】

2017年6月に閣議決定された「未来投資戦略2017」において、2027年までにキャッシュレス決済比率を4割程度とする目標が初めて示された。

2018年4月に経済産業省が策定した「キャッシュレス・ビジョン」では、内閣府が公表している民間最終消費支出に占めるクレジットカード・デビットカード・電子マネーでの支払額の比率で算出している。また、各国比較では、キャッシュレス支払い手段による年間支払い金額には、国際決済銀行（BIS）が公表している年次報告書の電子マネー決済額及びカード決済額の和を分子とし、これを世界銀行が公表している国の家計最終消費支出で割って算出した比率をキャッシュレス決済比率とした。

「キャッシュレス・ビジョン」では、キャッシュレス決済比率40%の目標時期を2027年から大阪・関西万博が開催される2025年に前倒しし、さらに将来的には世界最高水準の80%を目指すことが示された。

キャッシュレス社会

☆☆

現金以外のデジタルな手段で支払いが行われ、消費者にとって利便性が向上するとともに、生み出されたデータを利活用することで国全体の生産性の向上や業務効率の改善がなされ、さらに、新しいサービスが生まれ、消費者・お店、決済サービス会社それぞれが、キャッシュレス決済に価値を見出すことができる社会のこと。

キャッシュレス決済手段／キャッシュレス・ツール

☆☆

クレジットカードや電子マネー、デビットカードなどの現金を代替する決済手段等を総称した呼び名のこと。

キャッシュレス推進協議会

☆☆

「キャッシュレス・ビジョン」の提言等を踏まえ、2018年7月に一般社団法人として設立された。日本のキャッシュレス推進活動の推進役として、様々な業界が横断的に、行政や学識者とも連携しながらそれぞれ対等な立場で意見交換を行い、社会全体として一体となってキャッシュレス社会実現に向けた活動をする組織。

キャッシュレス・ビジョン

☆☆

2018年4月に経済産業省が策定した、日本におけるキャッシュレス社会を実現するためにまとめた指針のこと。

【加えて】

キャッシュレス決済を促進するため、消費者・お店の課題を解消する取組の方向性及び方策を提言している。2025年までにキャッシュレス決済比率を40%にし、将来的には世界最高水準の80%とする目標を定めている。

キャリア決済

☆☆

携帯電話使用料金と一緒に、商品やサービスの代金を支払う方法のこと。

【加えて】

この場合のキャリアとは電気通信事業者を指し、NTTdocomo（ドコモ払い）、au（auかんたん決済）、Softbank（ソフトバンクまとめて支払い）がある。

クレジットカード（credit card）

☆

お店などでの支払い時に使用すると、その場で現金を支払うことなく商品やサービスを受け取ることができ、後で代金の請求が来る（後払い）カードのこと。

【加えて】

代金は一括で支払うか、分割払いやボーナス払い、リボ払いなどがある。信用販売のため、カード発行の際の入会審査によって一ヶ月の利用限度額が人それぞれで定められており、利用者はその範囲で支払いができる。売上金の入金については、アクワイアラー（お店と契約する決済会社）からお店に支払われる。

※入金タイミングは、クレジットカード会社によって異なる。

<主なクレジットカードでの支払いの流れ>



決済

☆

商品やサービスに対して、お金などの対価を支払うこと。

【加えて】

現金のほかにも、クレジットカード、電子マネー、デビットカード、銀行を介した振込などによる決済がある。

決済端末

☆☆

キャッシュレス手段で支払う時に、読み取る機械のこと。

【加えて】

磁気カードをスライドさせる、接触型 IC カードを差し込む、非接触型 IC カードやスマートフォンをタッチしたりかざしたりする、バーコードや QR コードを読み取るなど、端末の種類は様々である。

複数のキャッシュレス手段での支払いに対応している、マルチ決済端末もある。

決済代行サービス

☆☆

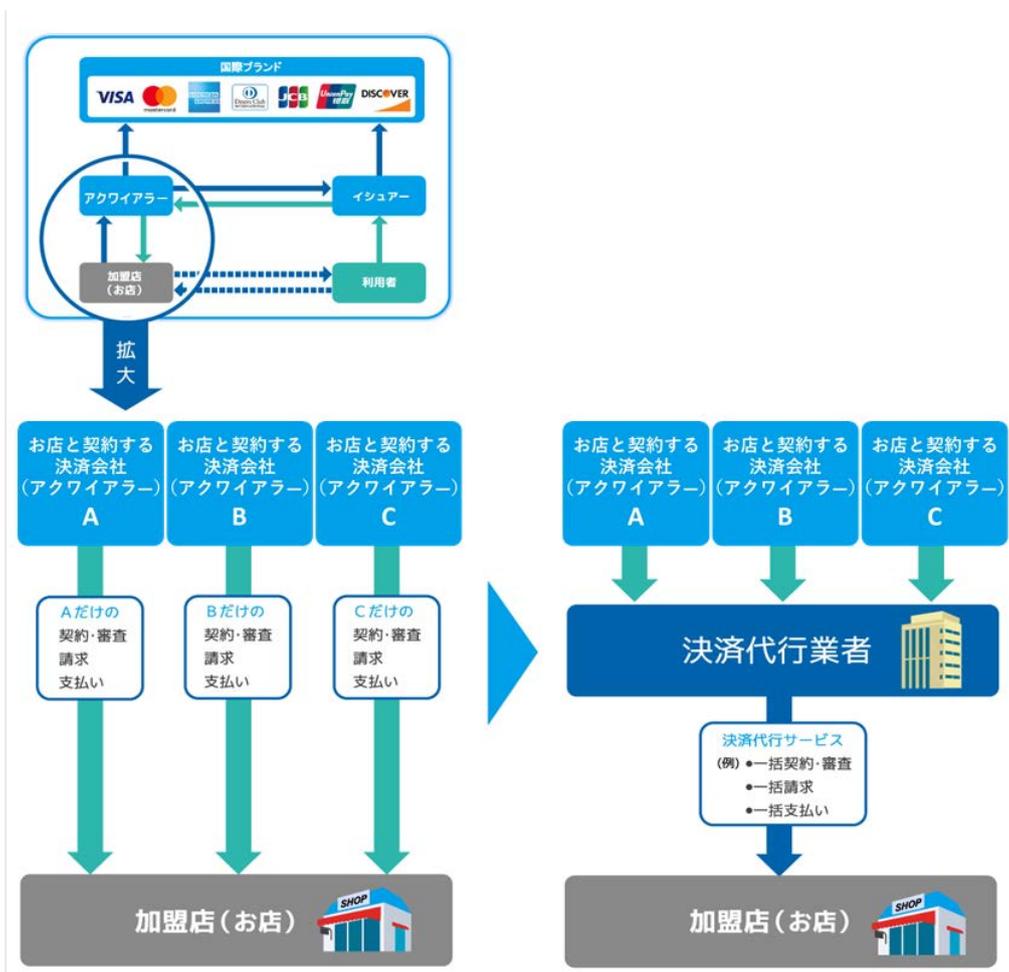
加盟店とクレジットカード会社や決済サービス会社の間に入り、複数のクレジットカード会社や決済サービス会社との契約や精算を代行するサービスのこと。

決済代行業者

☆☆

決済代行サービスを提供する会社のこと。

<決済代行業者の役割>



決済データ

☆☆

購買に関する情報で、誰が（顧客 ID）、いつ（日時）、どこで（加盟店）、いくら（購買金額）購入したかが分かる情報のこと。

【加えて】

お店の POS システムの情報と組み合わせることによって、商品・サービスの種類が分かる場合もある。

現金決済

☆

お札や小銭で支払いをすること。

口座振替／口振

☆☆

銀行口座から、料金を自動的に引き落としするサービスのこと。

【加えて】

口座振替は、自動引き落とし、口座自動振替、自振とも呼ばれることもある。定期的に支払う公共料金や携帯電話料金を自動引き落としにして、払い忘れを防止することもできる。クレジットカードの支払いも口座振替が一般的で、あらかじめ銀行口座を設定しておく、自動で引き落とされる。

コード決済／バーコード決済／QR コード決済

☆

バーコードや QR コードを使って支払いすること。

【加えて】

消費者がスマートフォンにコードを表示させる方式の CPM（Consumer Presented Model：消費者提示型）と、お店がコードを表示する方式の MPM（Merchant presented Mode：店舗提示型）の 2 種類がある。

<主なコード決済での支払いの流れ>

事前準備	支払い
<p>スマートフォンに専用のアプリをインストール</p> <p>銀行口座やクレジットカードをアプリに登録</p>  <p>※金融機関ごとに登録の際に必要な情報が異なります。</p>	<p>MPM（お店が表示する方法）</p> <p>お店に表示されているQRコードをアプリで読み取り金額を入力する</p> <p>支払い完了画面を店員に提示する</p>  <p>CPM（消費者が提示する方法）</p> <p>方法①</p> <p>店員にバーコードやQRコードが表示された画面を提示し読み取ってもらい支払い完了</p>  <p>方法②</p> <p>QRコード読み取り機にスマートフォンの画面をかざして支払い完了</p> 

国際ブランド

☆☆

世界各地に数多くの加盟店を持ち、国際的に通用するクレジットカードブランドのこと。

【加えて】

一般的には、VISA（ビザ）、MasterCard（マスターカード）、American Express（アメリカンエキスプレス）、DinersClub（ダイナースクラブ）、JCB（ジェーシービー）、Discover Card（ディスカバーカード）と銀聯（ぎんれん）の7つを指す。（2019年2月時点）※アクワイアラーのイラスト参照

個人間送金

☆

個人と個人の間でのお金のやり取りのこと。

【加えて】

仕送りや飲み会代の幹事への支払い、主に消費者の間の売買で発生する支払いなどがこれにあたる。CtoCの支払い、P2P（Peer to Peer）送金ともいう。銀行のほか、100万円以下であれば、登録を受けた資金移動業者も取扱い可能。（2019年2月時点）

さ行

サインレス（signless）

☆☆

クレジットカードで支払う時に、本人確認のサインを行わないこと。

【加えて】

スーパー、ショッピングセンター、コンビニ等、手軽な支払い処理が求められる場所で利用されることが多い。

スマートフォン決済（スマホ決済）

☆

スマートフォンを使って支払いをすること。

【加えて】

NFC（非接触 I C）がついているスマートフォンで読み取り機にタッチやかざす方式（タッチ式）や、QR コードやバーコードを使う方式がある。

生体認証

☆☆

指紋や、顔、目（虹彩）など身体の一部を用いて認証を行うこと。

【加えて】

個人で異なる生体情報を使うため、なりすましが難しく安全性が高いと言われている。

静的 QR コード

☆☆

印刷物のように表示が変わらない QR コードの方式のこと。

【加えて】

決済端末などの設備がない店舗でも、印刷した QR コードを店頭に置くだけで、コード決済の導入が可能となる。支払いのたびに電子的に作成される QR コードのことを動的 QR コードという。

接触型 IC カード

☆☆

差し込み用の集積回路が入ったカードのこと。

【加えて】

カード読み取り機に差し込み、直接接触させて読み取る。

クレジットカードが代表的。磁気を使ったカードに比べて、カードに記録されたデータの安全性が高く偽造や変造がしにくい。※IC カードのイラスト参照

セルフ・コントロール

☆☆

クレジットカードなどを利用するときに、自分で利用限度額や利用できるお店の範囲を設定・変更できる機能のこと。

【加えて】

利用者は、クレジットカードなどでの使いすぎを防止できるようになる。

即時払い

☆

支払いの際に、消費者が保有しているお金又は銀行口座の残高からすぐに支払われること。

【加えて】

現金支払いや、デビットカードでの支払いがこれにあたる。デビットカードでは銀行口座から即時に引き落とされて支払われる。他には前払いと後払いがある。※後払いのイラスト参照

た行

タッチ式

☆

読み取り機にカードやスマートフォンをタッチしたりかざしたりする方式のこと。

【加えて】

「かざす」場合も指す。電子マネーや社員証が代表的で、クレジットカードやデビットカードでも、タッチして読み取る方式がある。なお、「タッチ（触れる）」と「かざす」のどちらでも動作することが多い。

チャージ/入金 (charge)

☆

電子マネーに入金を行い、残高を増やすこと。

【加えて】

券売機やチャージ専用機にて現金を入金する方法や、スマホアプリのなかでクレジットカードや銀行口座から入金する方法がある。

残高が一定の金額未満になると、あらかじめ登録していたクレジットカードから自動で一定金額分が入金されるオートチャージという機能もある。

デジタル通貨/デジタルコイン

☆☆

電気信号を使って（電子的な情報、デジタルデータとして）記録し利用できるお金のこと。

【加えて】

日本銀行のような中央銀行が発行する場合を特にデジタル通貨と呼ぶ場合もある。一般的な銀行が独自発行する場合は、デジタルコインと呼ぶ場合もある。特に分けずに、広くキャッシュレスにおける通貨をデジタル通貨と呼ぶ場合もある。

デビットカード (debit card)

☆

お買い物や食事代の支払いで使うと、代金が銀行口座から即時に引き落とされるカードやその支払い方式のこと。

【加えて】

日本の銀行などの金融機関が提供する J-Debit（ジェイデビット）と、クレジットカードの国際ブランドが提供するブランド・デビットがある。

<主なデビットカードでの支払いの流れ>



デポジット (deposit) ☆☆☆

一般的に、サービスを利用する際に最初に支払う「預り金」のこと。

【加えて】

主な交通系電子マネーは IC カード発行の際に、預かり金を払う場合がある。預り金なので、カードなどを返すことで返金される。

電子マネー ☆

様々な会社が独自に発行している支払いサービスで、主にカードの中に電気信号にしたお金の情報を持たせたもの。

【加えて】

例えば、JR 東日本の発行する Suica (スイカ)、セブン&アイ・ホールディングスのグループ会社が発行する nanaco (ナナコ)、イオングループが発行する WAON (ワオン) 等がある。

タッチして使える IC カードやスマートフォン、携帯電話の方式がある。支払い方式は、前払い式が多い。

<主な IC カード型電子マネー(プリペイド)での支払いの流れ>



電子レシート

☆☆

電子データ化された標準仕様の買い物レシートのこと。

【加えて】

スマートフォンのアプリなどから確認することができる。経済産業省では2017年3月から買い物レシートの電子化を通じたデータ利活用に関する実験を行い、標準電子レシートを策定した。

動的QRコード

☆☆

支払いのたびに電子的に作成されるQRコードの方式のこと。

【加えて】

消費者のスマホ画面や店舗のタブレットに表示したQRコードを読み取る際に使われる。決済のたびにQRコードが電子的に作成されるため、偽造されにくい。印刷物のように表示が変わらないQRコードのことを静的QRコードという。

な行

二次元コード

☆☆

水平方向と垂直方向に情報を持つ表示方式の符号のこと。

【加えて】

横方向にしか情報を持たない一次元コードと比較して、情報量が多い。二次元コードの代表的なものにQRコ

ードがある。※一次元コードの説明のイラスト参照

入会審査

☆☆

消費者が主にクレジットカード利用の申し込みをしたときに、クレジットカード会社が、属性情報や過去の返済状況を参考にカード発行の審査を行うこと。

【加えて】

クレジットカード会社は、審査の内容をもとに利用可能限度額を設定するため、利用可能限度額は人によって異なる。

は行

バーコード

☆

しま模様の線の太さによって数値や文字を表す符号のこと。

【加えて】

一次元コードともいう。

例えば、スーパーやコンビニの商品のパッケージにはバーコードがついており、レジにある機械で商品情報を読み取ることができる。読み取った情報は会計や在庫管理などに活用している。※一次元コードのイラスト参照

非接触型 IC カード

☆☆

タッチ式の支払いができる集積回路が入ったカードのこと。

【加えて】

電子マネーや社員証が代表的。磁気を使ったカードに比べて、カードに記録されたデータの安全性が高く偽造や変造がしにくい。※IC カードのイラスト参照

フィッシング詐欺

☆☆

銀行やオークションなどの正規のサービスを装い、利用者の ID パスワード、クレジットカード番号等の情報をだまし取ること。

【加えて】

なりすましメールを送り、そこから不正サイトに誘導し情報をだまし取る手口が代表的である。フィッシング (fishing) やフリーキング (phreaking) が語源との説がある。

ブランド・デビット

☆☆

国際ブランド対応のお店で使えるデビットカードのこと。

【加えて】

クレジットカードの国際ブランドの決済機能を利用して、クレジットカードが使えるお店やネットショッピングで利用できる。支払いで使用すると、連動した銀行口座から即時に引き落とすことができる。

振り替え 振替

☆☆

同じ銀行の同じ支店内でお金を移動させること。

【加えて】

口座の持ち主である本人名義同士に限られ、手数料は基本的に無料。自分のお金を別の口座に移動させる手段として使われる。一般的に本人名義同士でも、別の銀行（別の支店）の口座への送金は、振込になる。

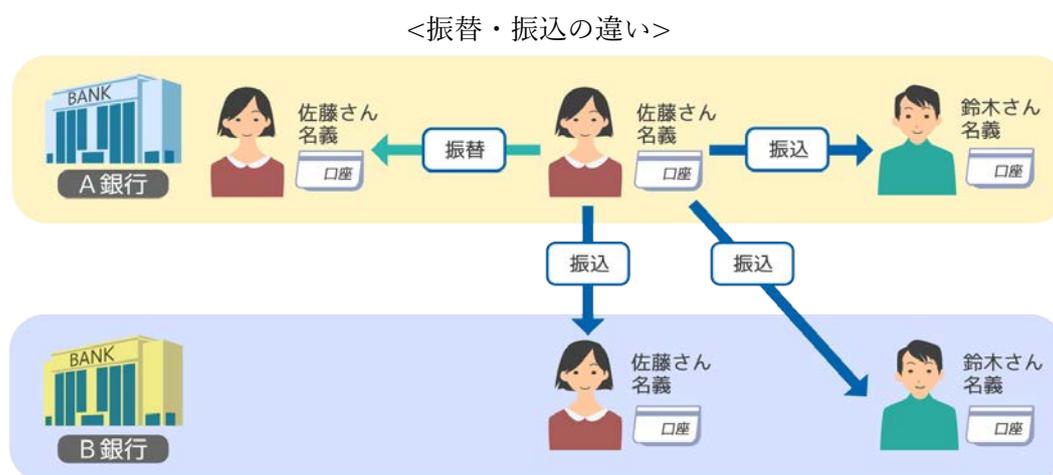
ふりこみ
振込

☆☆

他の銀行や他の支店の口座にお金を送金すること。

【加えて】

同じ銀行、同じ支店、本人名義同士での送金の場合は振替になる。



プリペイド (prepaid)

☆☆

先にお金を払ったり、入金したりして、その分の商品やサービスを後で購入すること。

【加えて】

前払い式、前払式支払手段ともいう。

プリペイドカード (prepaid card)

☆

先にお金を払ったり、入金したりして、その分の商品やサービスを購入することができるカードのこと。

【加えて】

前払い式のお金の払い方になる。

ペイ (pay)

☆☆

支払いのこと。

【加えて】

〇〇ペイ、という使われ方をする。〇〇にはサービス名が入る。

ポイントサービス (point service)

☆☆

商品やサービスを購入した金額あるいは回数に応じて、ポイントを顧客に付与すること。

【加えて】

顧客はこのポイントを使って商品やサービスと交換したり、購入金額に充当したりすることができる。

ポストペイ (post-pay)

☆☆

商品やサービスを先に受け取り、あとで代金を支払うこと。

【加えて】

後払いともいう。

クレジットカードでの支払いや、商品・サービスを受け取った後での請求書のコンビニ支払い、銀行振込などがこれにあたる。後払いともいう。他にはプリペイド（前払い）、リアルタイムペイ（即時払い）がある。

本人確認

☆☆

銀行や証券などの口座開設を行う際に、求められる身元の確認のこと。

【加えて】

本人確認を徹底することにより、犯罪組織やテロ組織などに資金が流れないようにし、(国際的な) 犯罪を防止することを目的としている。KYC (Know Your Customer) ともいう。

ま行

前払い

☆

先にお金を払ったり、入金したりして、後でその分の商品やサービスを購入する方法のこと。

【加えて】

例えば、磁気型や IC 型のプリペイドカード、インターネット上で使えるプリペイドカード、商品券やカタログギフト券等がこれにあたる。前払式支払手段、プリペイドともいう。他には即時払いと後払いがある。

※後払いのイラスト参照

ら行

リボ払い／リボルビング払い

☆☆

利用金額や利用件数にかかわらず、毎月支払う額がほぼ一定になるクレジットカードの支払い方法の一種のこと。

【加えて】

毎月の支払いが一定の金額になるので、支払いの計画を立てやすいという特徴がある。月の利用金額が増えると、手数料が変動したり支払いの時期が延びたりすることがある。通常の分割払いよりは高くなる傾向があるので、手数料率を確認して、必要に応じて使う必要がある。

A～Z

API (Application Programming Interface) 「エーピーアイ」

☆☆

コンピュータを使った複数のサービス同士でデータをやり取りするための仕組みのこと。

【加えて】

異なるサービスを連携することで、消費者にとっては便利な使い方ができたり、サービスを提供する会社にとって新たなビジネスの機会になったりする。更に、会社にとっては、プログラムやデータを共有化しやすくなる。

ATM (Automatic Teller Machine) 「エーティーエム」 ☆

銀行などが発行するキャッシュカードなどで、お金を預けたり、引き出したりできる機械のこと。

【加えて】

残高確認や、他の銀行へ送金もできる。銀行窓口の営業時間外にも利用できる。銀行のほかにコンビニにも置いてある。※キャッシュディスプレイ（現金自動支払い機）は、預金の引き出しの専用の機械のこと。

BtoB (Business to Business) 「ビートゥービー」 ☆☆

会社やお店同士での材料・商品・サービスなどに関する取引のこと。

【加えて】

例えば、お店同士の材料・商品・サービス提供に対する支払いとなる。※CtoC のイラスト参照

BtoC/CtoB (Business to Consumer) 「ビートゥーシー」 ☆☆

会社やお店と消費者との間の商品・サービスなどに関する取引のこと。

【加えて】

例えば、お店でのお買い物、通信販売やネットショッピングでの買い物などがこれにあたる。※CtoC のイラスト参照

BtoG/GtoB (Business to Government) 「ビートゥージー」 ☆☆

行政や自治体と会社との間のサービスなどに関する取引のこと。

【加えて】

例えば、主に行政や自治体を利用する品物やサービスの手配で発生する支払い、道路や鉄道などの公共施設の整備に係る建設などを行う会社に対する契約金の支払いや、また、会社が支払う法人税や個人事業主のお店が支払う所得税などがこれにあたる。※CtoC のイラスト参照

CtoC (Consumer to Consumer) 「シートゥーシー」 ☆☆

消費者同士での取引のこと。

【加えて】

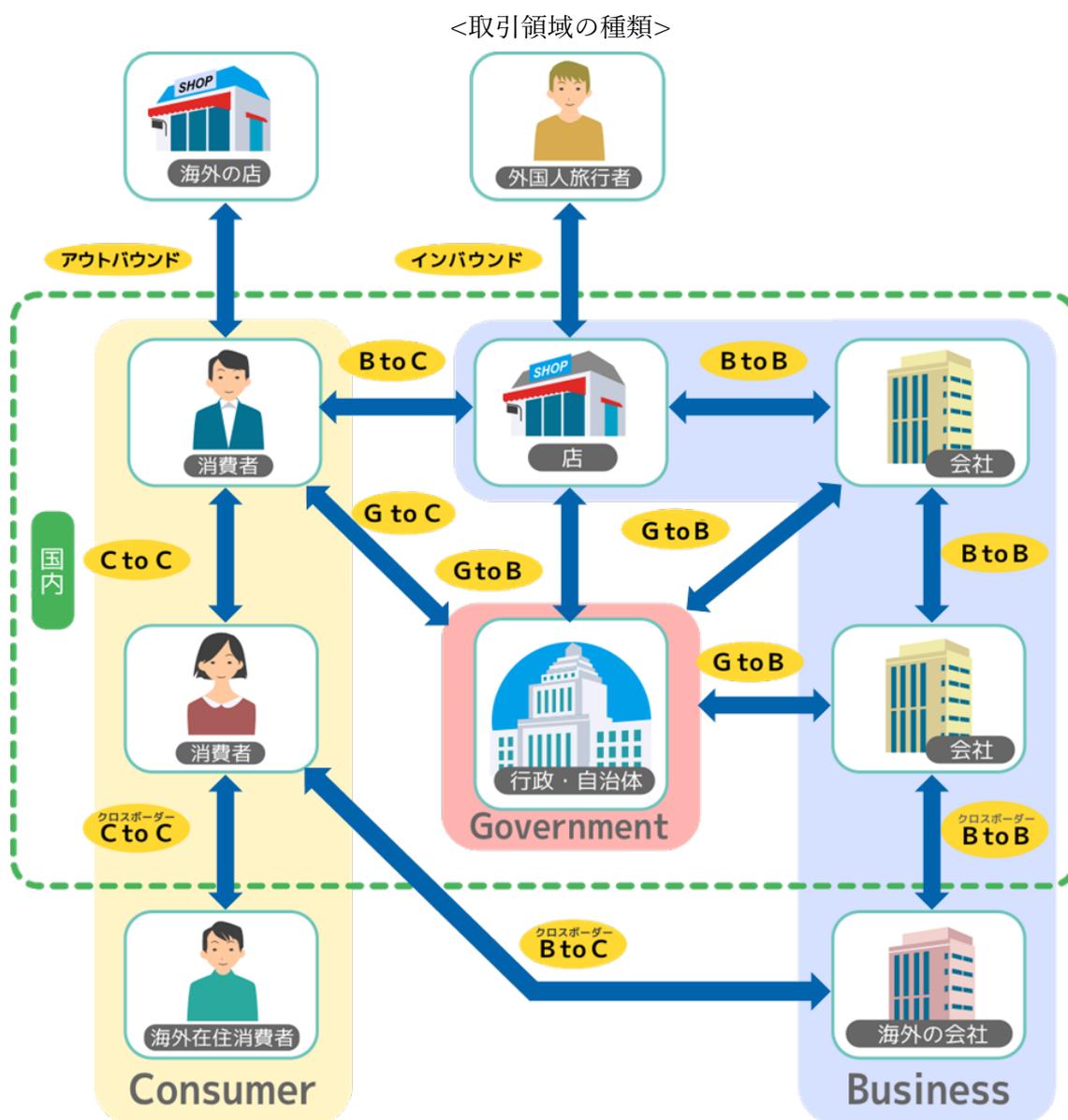
例えば、仕送りや飲み会代の幹事への支払い、個人間の売買で発生する支払いなどがこれにあたる。P2P (Peer to Peer)、個人間送金などを指す場合もある。※イラスト参照

CtoG/GtoC (Consumer to Government) 「ジートゥーシー」 ☆☆

消費者と行政や自治体との間のサービスなどに関する取引のこと。

【加えて】

例えば、住民税等の税金納付、住民票の写し等の証明書を取得する際の手数料などがこれにあたる。※CtoC のイラスト参照



B : Business (会社・店)
 C : Consumer (消費者)
 G : Government (行政・自治体)

CPM (Consumer presented Model) 「シーピーエム」

☆☆

消費者がスマートフォンにバーコードや QR コードを表示させて、お店が読み取って支払いする方式のこと。

【加えて】

消費者提示型ともいう。バーコードや QR コードを使って支払いをするコード決済の種類の一つ。反対に、お店がコードを表示する方式をMPMという。※コード決済のイラスト参照

EC サイト (EC:Electronic Commerce) 「イーシーサイト」

☆☆

インターネット上でお買い物や取引ができるウェブサイトのこと。

【加えて】

ネットショップ、オークションサイト、コンテンツ配信サイトなどがある。

営業時間や休業日の考え方がなく、「いつでも・どこでも・誰とでも」取引を行うことができ、国を超えたやり取りも可能。

ETC カード（ETC:Electronic Toll Collection system）「イーティーシーカード」☆☆

車で高速道路を利用する際に、料金所で停止せずに通過するだけで支払いをすることができるカードのこと。

【加えて】

2001 年から全国の高速道路で一般利用が開始された。

Felica「フェリカ」☆☆

タッチ式決済に使われている技術のうちの 1 つのこと。

【加えて】

タッチ式決済とは、カード読み取り機に触れなくても読み取りができる非接触型 IC カードを使った支払いのことを指す。

日本では非接触 IC カードの 8 割以上で利用されており、代表的なものでは交通系電子マネーの Suica（スイカ）や PASMO（パスモ）、楽天 Edy（エディ）や nanaco（ナナコ）等の電子マネーに活用されている。

Fintech「フィンテック」☆☆

金融（Finance：ファイナンス）と技術（Technology：テクノロジー）を組み合わせた言葉で新しい金融サービスが生まれる動きのこと。

【加えて】

Fintech によって生み出されたサービスには、スマートフォンを使った決済や送金サービス、銀行口座やクレジットカードをまとめて管理できるサービスなどがあり、キャッシュレス社会を後押しするものも登場している。

IC カード（IC:Integrated Circuit）「アイシーカード」☆

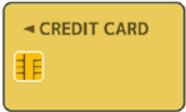
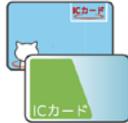
集積回路が入ったカードのこと。

【加えて】

磁気を使ったカードに比べて、カードに記録されたデータの安全性が高く偽造や変造がしにくい。

接触型 IC カードは、カード読み取り機に差し込み、直接接触させて読み取る方式で、クレジットカードが代表的である。非接触型 IC カードは、カード読み取り機にタッチしたり、かざしたりして読み取らせるカードのこと。タッチやかざすだけで利用でき、電子マネーや社員証などに活用されている。

<IC カードの種類>

	接触型ICカード	非接触型ICカード		
概要		 ICチップが内蔵されている		
規格	ISO/IEC 7816	NFC		
		Type-A	Type-B	Felica
特徴	業界やサービスに特化した仕様で作成されている。 クレジットカード等の金融向けにはEMV仕様と呼ばれる標準仕様があるため、世界各国で利用できる。	安価な生産が可能 世界各国で利用されている	高いセキュリティ（CPU搭載） 標準化しやすい 世界各国で利用されている	高いセキュリティ（CPU搭載） 情報処理速度がTypeA/Bの2倍 日本における圧倒的なシェア
利用用途例	クレジットカード  ※接触型に加えて非接触型も兼ね備えている場合もある	学生証・社員証  Taspo 	運転免許証  パスポート  日本国旅券  住民基本台帳カード 	交通系/流通系電子マネー  ICカード おサイフケータイ 

J-Debit「ジェイデビット」

☆☆

日本の金融機関で発行されたキャッシュカードでお金を支払うサービスの名称。

【加えて】

お買い物や食事代の支払いで使用すると、代金が預金口座から即時に引き落とされるデビットの1つ。他にはブランド・デビットがある。※「JAPAN（ジャパン）」の「J」と「Debit（デビット（本来は「借方（かりかた）」という意味）」を組み合わせた造語。

MPM（Marchant Presented Mode）「エムピーエム」

☆☆

お店がQRコードを表示し、消費者が読み取って支払いをする方式のこと。

【加えて】

店舗提示型ともいう。バーコードやQRコードを使って支払いをするコード決済の種類の一つ。反対に、消費者がスマートフォンにコードを表示させる方式をCPMという。※コード決済のイラスト参照

P2P 送金 (Peer to Peer) 「ピートゥーピー、ピアトゥーピア」 ☆☆

消費者の間でのお金のやり取りのこと。

【加えて】

仕送りや飲み会代の幹事への支払い、個人間の売買で発生する支払いなどがこれにあたる。CtoC の支払い、個人間送金ともいう。

Pay-easy 「ペイジー」 ☆☆

税金や公共料金、各種料金の支払いを、インターネット・バンキングや ATM などの手段を用いて支払いできるサービスのこと。

【加えて】

日本マルチペイメントネットワーク運営機構が運営し、国内のほとんどの金融機関が加盟している。金融機関の窓口やコンビニのレジに並ばずに済む。

PFM (Personal Financial Management) 「ピーエフエム」 ☆☆

複数の銀行口座やクレジットカードをまとめて管理できるサービスのこと。

【加えて】

預金、資産管理、分析ができる家計簿アプリである、マネーフォワードやマネーツリーなどがこれにあたる。

POS システム 「ポスシステム」 ☆☆

お店における売上情報を管理するシステムのこと。

【加えて】

POS は、point of sale の略。売れた商品、売れた時間・場所、数、値段などの売上情報を集計し、分析などを行うことができる。レジスターと連動したシステムであり、POS レジとも呼ばれる。

QR コード 「キューアールコード」 ☆

二次元コードの一種のこと。

【加えて】

水平方向と垂直方向に情報を持つ表示方式の符号である。横方向にしか情報を持たないバーコード等の二次元コードと比較して、情報量が多い。コード決済などに利用される QR コードは、印刷物のように表示が変わらない静的 QR コードと、支払いのたびに電子的に作成される動的 QR コードの 2 つに分類される。

デンソーが製造管理のために開発し、デンソーウェーブが特許及び商標を持つ。※二次元コードのイラスト参照